

相模湾で観察された日本初記録の
ハシグクロハラアジサシ *Sterna nigra* L.

中 村 一 恵

A Black Tern *Sterna nigra* L., Observed in Sagami
Bay; New to Japan

Kazue NAKAMURA

ABSTRACT

Two among three species of marsh terns, a white-winged black tern *Sterna leucoptera* and a white-cheeked tern *S. hybrida*, have been reported as a straggler from several places in Japan; the rest, a black tern *S. nigra* had hitherto unknown to Japan. However an adult bird with summer plumage was observed over fish preserves in Sagami Bay, Kanagawa Prefecture in September in 1971. It is presumably *S. n. nigra* from Old World.

いわゆる 'Marsh Tern' と呼ばれる内陸淡水性のアジサシの一群に3種あり、従来日本からは旧北区産の2種、クロハラアジサシ *Sterna hybrida* とハシグクロハラアジサシ *S. leucoptera* が記録され、残りハシグクロハラアジサシ* *S. nigra* は未記録種であった。

筆者は1971年9月、神奈川県三浦半島小田和湾で海鳥を観察中、クロハラアジサシ1種を認め、撮影した。

観察結果および生態写真を Hartert, Witherby 等の記載と照合した結果、これが日本未記録のハシグクロハラアジサシ *Sterna nigra* と判定されたので、観察の概要を報告し、あわせて主に Witherby (1924) の記載による本種の特徴を紹介し、今後の参考資料としたい。

なお比較の意味から、PLATE には1969年5月に同じ小田和湾で記録された近似のハシグクロハラアジサシ *S. leucoptera* の生態写真を添えた。

この報告を書くにあたり、写真の同定をして頂いた農林省林業試験場三島冬嗣技官に厚くお礼申し述べます。

観察場所と付近の鳥類概要

小田和湾 (Odawa-Wan) は三浦半島のはほぼ中央部、三崎寄りに位置する。中心漁港佐

*和名は黒田久 (1965) に準じた。

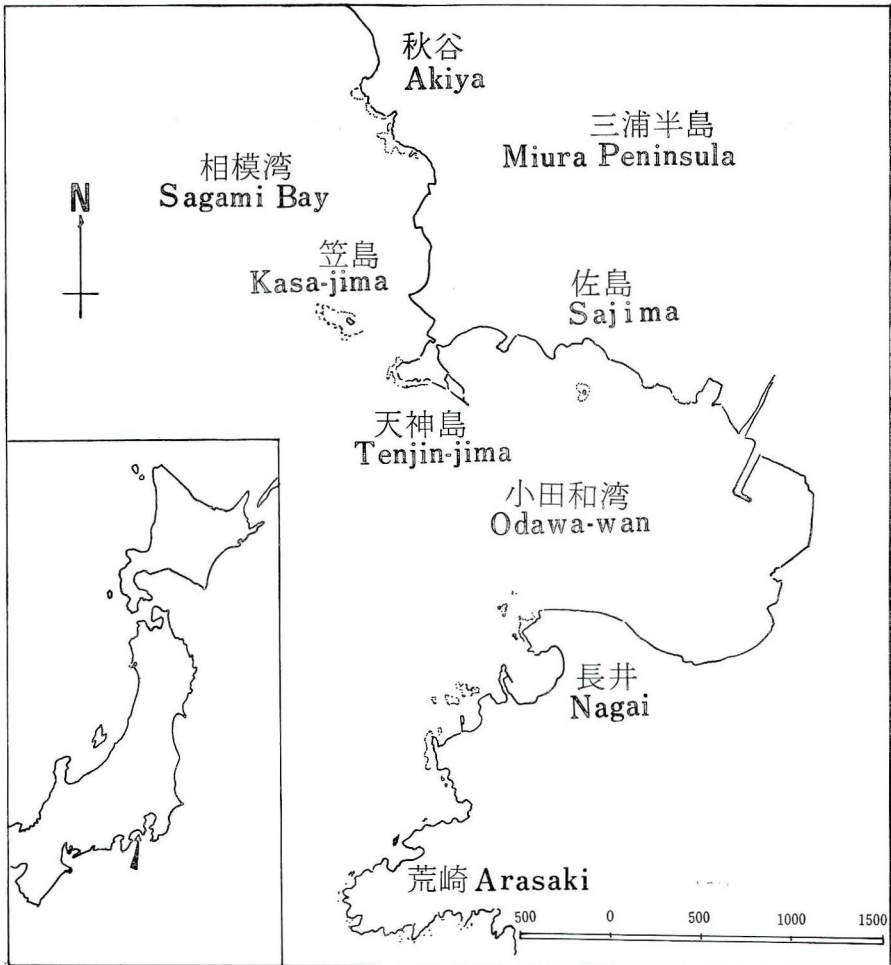


Fig. 1. Map showing the location a black tern *Sterna nigra* L., was observed.

島と対岸の長井を結ぶ湾口の幅は約2 km、奥行約2.3 kmの、相模湾側三浦半島最大の漁港である。

湾口から湾の中央部にかけてもっとも深く、最深8.3 mを数える (Fig. 1)。

湾内は波静かで、ワカメ養殖、ハマチ蓄養、イワシなどの生簀の収容に最適である。特にカツオ漁の生簀を対象としたカタクチイワシ用の生簀をほとんど周年にわたって収容し、カツオ船の需要に応じている。ときにマイワシ、ウルメイワシを生簀に収容するが、生簀の大半を占めるのはカタクチイワシである。

これらのイワシ類を餌とする多くの海鳥が四季にわたって湾に侵入または定着する。

この時期の海鳥の代表種にアジサシ *Sterna hirundo* とウミネコ *Larus crassirostris* の2種がある。

1971年の観察によるアジサシの秋の渡りの状況は次のようであった。8月下旬に沖合に散在する小群をみて、9月3日には湾に侵入した小群をみた。4日には40羽前後の群れを

観察した。以後急激に数を増し、12日には数百羽に達し、9月下旬に至り、1000羽前後となって最盛となった。10月上旬を過ぎると徐々に数を減じ、その数500羽前後となった。

ユリカモメ *L. ridibundus* はウミネコを除くカモメ類中もっとも早く渡来し、9月29日には冬羽のもの4羽を初認した。

このほかオオミズナギドリ *Calonectris leucomelas*, ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*, コサギ *Egretta garzetta*, クロサギ *E. sacra*, トビ *Milvus migrans*, カラス *Corvus* sp. が湾に侵入し、いずれも生簀のイワシを利用する。特にコサギは昨年引き続き海岸への進出が認められ、岸付近から湾の中央へ出て、ウミネコ群に混じって採餌するようになった。

ハシグクロハラアジサシについて

1971年9月10日、小田と湾のイワシ生簀についた数百羽のアジサシ群中に1羽を認めたもので、夏羽の成鳥であった。9月12日再度観察し、このとき撮影した。14日までに滞留した模様で、これ以後の再確認はなかった。従って少なくとも5日間は湾付近に滞留したことになる。

1969年5月21日に記録した近似のハシグクロハラアジサシ (PLATE 4 fig. 2) 同様、アジサシの群れに始終ついて、飛翔、採餌、休息など行動を共にしていた。飛翔はアジサシほど深くなく、ときどき2~3回、こきざみにはばたくコウモリを思わせるような飛翔をみせたこともあった。アジサシの群れに混じって海上に休息するところを一度みた。迷

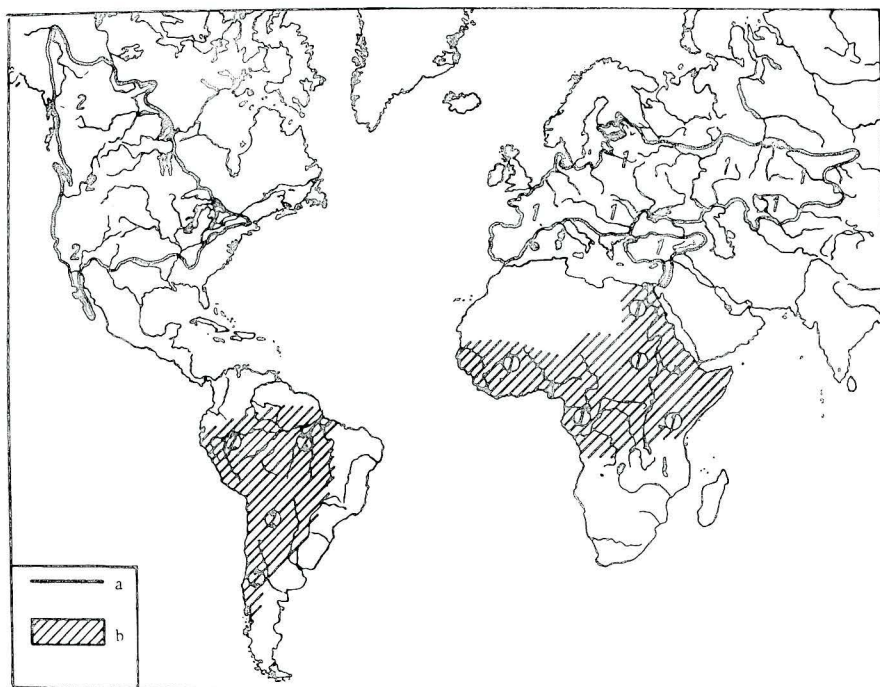


Fig. 2. Distribution of black tern *Sterna nigra*. 1-*Sterna nigra nigra* 2- *S. n. surinamensis*; a-Boundary of nesting territories; b-winter quarters (Map after Dement'ev *et al.* 1951).

行したとはいえ、弱っている様子は全くみられなかった。

本種は繁殖地では主に昆虫食で、Bent によると、北アメリカの亜種は沿岸で他のアジサシ類と混棲するとき以外は小魚類をほとんど食べないという。小田和湾の生簀では本種がアジサシ群に混じってカタクチイワシ *Engraulis japonica* を食うことを確かめた (PLATE 5 fig. 1)。生簀での採餌はすくい取りによりイワシを捕えるが、本種は特徴ある dipping feeding-flight で、アジサシやコアジサシのような突入採餌はしない。

ハシグクロクロハラアジサシは体色の差 colour darker in Western Hemisphere (Dement'ev et al.) により明らかな2亜種に分れ、ヨーロッパとアジアの *Sterna nigra nigra* L. と北アメリカの *S. n. surinamensis* Gmelin とに隔離分布する。

基亜種は北緯60度から南スペイン、マジョルカ島、ルーマニア、ブルガリアまでのヨーロッパ、東経80度付近から南はカスピ海までのソ連邦西部に繁殖し、冬季西は Loango 沿岸、東はタンガニーカ湖トリイまでのアフリカに渡る。北アメリカで繁殖する亜種は冬季南アメリカに渡り越冬する (Fig. 2)。

イギリスでは150年前には東海岸の湿地帯で繁殖していたが、20世紀に入って2〜3回繁殖したにすぎず、現在では4月と5月、8月と9月に渡ってくる旅鳥で、以前は南部と東部にみられたが、1945年以来数を増し、分布を拡大したという。

アジアの東部および南部ではインドのデリー (sight record)、中国の天津、通県、香港から基亜種の記録がある。今回記録されたものも基亜種 *S. n. nigra* と思われる。

主に Witherby による記載は次のとおりである。

成鳥雄、雌冬羽 - 前頭、前頂の前部には白色。残りの前頂、耳羽の上面まで、上顎はスーティブラック。下顎は白く、顎と喉をつなぐ。

背面はペイルスレートグレイ、上襟羽はより暗色。眼の前方に小黑斑、眼先き、頭の両側、腮、喉、体下面は白く、上胸の両側にダークスレイトの小斑がある。腋羽と下雨覆は淡い灰色、中央尾羽の上面はごくわずかに周縁が帯白色。最外側の外弁は帯白色。初列風切では外弁と先端がパールグレイ、内弁はより暗色であるが内側のエッジはごくわずかに周縁が白味をおびる。基部の内側は灰色で、くさび形に先端に広がる。羽幹は先端で暗褐色、他は汚白色。次列風切はパールグレイ、内弁の内側はペイルグレイ、最後列風切、大雨覆、中雨覆はペイルスレートグレイ。小雨覆はダークスレイトで周縁は帯白色。

雄夏羽 - 前頭、前頂の全部から顎の基部までと襟羽の接するところまで、それに頭の両側が黒色、時に腮も黒色 (PLATE 4 fig. 1〜3 参照)、残りの背面はスレートグレイ (PLATE 4 fig. 2 参照) で、冬羽よりわずかに暗色。白色の下尾筒を除いて下面は黒味のあるスレート (PLATE 4 fig. 3 参照)。腋羽はスレートグレイ、下雨覆は灰色、小雨覆は薄く、白味をおびる。

雌 - 背面は雄に似るが前頂の黒色部分が後頭まで達せず、頭の両側がダークスレイトグレイ。下面はダークスレイトグレイで雄のように黒色ではない。腮と喉は通常ペイラージグレイ。

嘴は黒色 (幼鳥では下嘴がダークグレイの外は黒褐色)、脚は暗赤褐色 (幼鳥で深虹色)、虹彩は暗褐色。

幼鳥 - 前頭から眼の上方まで白色、しばしば褐色をおびる。前頂、上顎の中央、上耳羽はスーティブラック、下顎と上顎の両側は白色、上襟羽は黒褐色、下襟羽と肩羽はより灰色味が強い。背は羽毛先端がごくわずかに褐色味をおびて薄い。上尾筒は先端が帯白色、とき

に褐色味をおびる。下面は白色，上胸の両側に暗褐色の小斑がある。下雨覆と腋羽は白色，中央尾羽は成鳥に似るが先端が褐色をおびる。初列風切と次列風切は成鳥に似るが初列風切の羽幹は通常褐色で白色ではない。最後列風切と大雨覆，中雨覆は肩羽のように先端が褐色をおび，残りの雨覆は先端に褐色の小斑を有する。小雨覆は黒味をおび，ごくわずかに周縁が帯白色。

体の大きさはクロハラアジサシより一周り小さく，ハジロクロハラアジサシとほぼ同大である。夏羽の成鳥に限っては，近似種との野外識別は困難ではない。

参 考 文 献

- 1) Alexander, W. B. 1963 *Birds of the Ocean* A Putnam Nature Field Book.
- 2) Ali, S. & Ripley, S. D. 1969 *Handbook of the Birds of India and Pakistan together with those of Nepal, Sikkim, Bhutan and Ceylon*. Vol. 3 Oxford Univ. Press.
- 3) Bent, A. C. 1921 *Life Histories of North American Gulls and Terns*. Dover Pub. Inc..
- 4) 鄭作新 1958 中国鳥類分布目録1 非雀形目，科学出版社.
- 5) Coward, T. A. (Edited by J. A. G. Barnes) 1969 *Birds of the British Isles and their Eggs*. Fredrick Warne & Co. LTD.,
- 6) Dement'ev, G. P., N. A. Gladkov & E. P. Spangenberg 1951 *Birds of the Soviet Union*. Vol.3 The Israel Program for Scientific Translations.
- 7) De Scahuensee 1966 *The Species of Birds of South America and their Distribution*. A Publication of the Academy of Natural Sciences.
- 8) Hartert, E. 1921 *Die Vögel der Paläarktischen Fauna Systematische Übersicht in Europa Nord-Asien und der Mittelmeeregion*. Berlin.
- 9) 黒田長久 1965 鳥類 現代生物学大系3 脊椎動物. 中山書店.
- 10) 中村一恵 1971 神奈川県鳥類誌Ⅰ. 神奈川県立博物館刊行.
- 11) 日本鳥学会 1971 日本鳥類目録第5版編集中間報告. 鳥20 (89).
- 12) Peters, J. L. 1934 *Check-list of Birds of the World*. Vol.2 Harvard Univ. Press.
- 13) Ripley II, S. D. 1961 *A Synopsis of the Birds of India and Pakistan together those of Nepal, Sikkim, Bhutan and Ceylon*. Bombay Nat. Hist. Soci..
- 14) Witherby, H. F. 1924 *A Practical Handbook of British Birds*. Vol.2 H. F. & G. Witherby.

Explanation of Plates

- PLATE 4 fig. 1~3 An adult black tern *Sterna nigra* with summer plumage, Odawa-Wan, Sagami Bay, 12, Sept., 1971. Photo by the author.
- PLATE 5 fig. 1 A black tern feeding on half-mouthed sardines over a fish preserve; associating with a flock of Nordmann's terns *S. hirundo longipennis*. Odawa-Wan, Sagami Bay, 12, Sept., 1971. Photo by the author.
- PLATE 5 fig. 2 An adult white-winged black tern *S. leucoptera* with summer plumage. Odawa-Wan, Sagami Bay, 21, May, 1969. Photo by the author.



